

英韓両国工業都市における対日意識調査比較

— 異文化コミュニケーション論からの考察 —

中 村 均

I はじめに

日本の海外直接投資がうねりをみせて一層、盛り上っている。とりわけ製造業の海外進出がめざましく、それも米欧先進国で工場を経営し、そこで生産したものを直接、大消費市場に売り込み、同時に貿易摩擦の解消をはかるというパターンの伸びが著るしい。日本に最も近いアジア NIES や ASEAN 諸国への投資も、全体的には依然、衰えをみせていないが、韓国におけるウォン高や労使紛争の続発にともなう賃金コストアップ、あるいは中国の天安門事件、フィリピンの再三にわたるクーデタ騒ぎによるカンントリー・リスクなどもあり、新しい資本の流れが変わる傾向ものぞかせている。

いずれにしても、海外で工場を経営するということは、これまでのように日本で生産したものを黙々と輸出するのと違って、異質な文化を背負った人間同士がぶつかりあうため、それなりの苦労も多く、場合によれば、文化摩擦が発生する。長い日本の歴史の中で、今ほど多くの日本人が世界各地で生活する時代はなかったわけだが、そのことはまた、それだけ異質な文化との揉み合いに、日本人が慣れていなかったことだともいえる。

どのような時に、文化摩擦は発生するか。第一には誤解と偏見、第二には価値観の対立、第三には利害の対立が原因となることが考えられるが、ここで摩擦をとりのぞくうえで大事になるのが異文化コミュニケーションであり、その大前提としては、まず相手をよく理解することであろう。海外へ出

ていく日本企業が地球社会の一員として生きていくためには、単に経済活動を行うのみではなく、所在地の地域社会に密着し、その人々から愛されることが何よりなのである。

Ⅱ 調査の概要

今回の対日意識調査は、1989年8月から10月にかけて、英国と韓国の工業都市で行なったものである。英国では、1990年4月から自動車組立工場の建設をはじめトヨタ自動車の進出先である中部イングランドのダービー市周辺地区と、すでに1986年7月から操業を開始している日産自動車英国工場の所在地である北部イングランドのサンダーランド市周辺地区の二か所、韓国では、三菱自動車と提携しながら大躍進をつづけている韓国最大の自動車メーカーである現代自動車の主力工場をはじめ、電子工業や重化学工業の工場群が建ちならぶ慶尚南道・東海岸の蔚山市周辺地区と、韓国工業化の象徴として真っ先に輸出自由地域が建設され、主として日本の中小企業が進出している慶尚南道・南海岸の馬山・昌原両市周辺地区の二か所を選んだ。

調査方法は、英国では一般市民、韓国では大学と職場を主対象とし、次の10項目にわたる英文とハングル文の質問を記載したアンケート用紙を配布して、各自で記入してもらうやり方をとった。その結果、英国ではダービー地区で108名、サンダーランド地区で125名、合計233名。韓国では蔚山地区で251名、馬山・昌原地区で274名、合計525名、英国と韓国を合わせて総計758名の回答をえた。

質問項目と回答者内訳、調査方法は次のとおりである。

【質問項目】

- (1) 日本および日本人について、一般的にどう思いますか。
- (2) 日本の工業力・技術力をどう評価しますか。
- (3) 日本人には独創力があると思いますか。
- (4) 日本人を動物にたとえると何ですか。

- (5) あなた方、自国民を動物にたとえると何ですか。
- (6) 世界的に有名な日本製品の名前(商品名もしくは企業・ブランド名)を挙げて下さい。
- (7) 自分の家にある日本製品の名前(商品名もしくは企業・ブランド名)を挙げて下さい。
- (8) 有名な日本人の名前を知っていれば挙げて下さい。
- (9) 日本および日本人は、あなた方にとり将来に向っての友人(味方)ですか。
- (10) 日本および日本人に期待するものは何ですか。

答えは自由記述式である。

[回答者内訳]

1. 英国

(1) ダービー地区

- ① 一般市民108名 うち性別は(未記入者をのぞく、以下同じ)

男性78.4% 女性21.6%

年齢は

11～20歳21.2%、21～30歳30.3%、31～40歳15.3%

41歳～50歳14.2% 51～60歳11.0%、61歳以上7.9%

(2) サンダーランド地区

- (1) 一般市民125名 うち性別は

男性75.3%、女性24.7%

年齢は

11～20歳25.7%、21～30歳23.5%、31～40歳18.7%

41～50歳13.0%、51～60歳11.2%、61歳以上7.8%

2. 韓国

(1) 蔚山地区＝

- ① 蔚山大学日語日文科 1年23名、同2年24名、同3年48名、

経営科1年31名、計126名

うち性別は

男性44.6% 女性55.3%

年齢は

11～20歳40.3%、21～30歳59.6%

② 一般市民125名

うち性別は

男性59.5% 女性40.4%

年齢は

11～20歳8.7%、21～30歳29.2%、31～40歳28.0%

41～50歳20.5%、51～60歳10.5%、61歳以上2.6%

(2) 馬山・昌原地区＝

① 昌原専門大学電算科25名、同観光科23名、同経営・産業デザイン科26名、計74名

うち性別は

男性32.8%、女性67.1%

年齢は

11～20歳18.1%、21～30歳78.7%、31～40歳3.0%

(2) 馬山・昌原地区・公務員15名

うち性別は

男性40.0%、女性60.0%

年齢は

21～30歳71.4%、31～40歳21.4%、41～50歳7.1%

③ 馬山・昌原地区・会社員185名

うち性別は

男性41.0%、女性58.9%

年齢は

11～20歳9.7%、21～30歳51.3%、31～40歳22.9%

41～50歳12.9%、51～60歳3.2%

〔調査方法〕

アンケート方式。英国では学校、公園、集会所、ホテルのロビー、パブ、映画館の行列などで英文の質問用紙を配布して実施、回収。韓国では大学、会社、企業、役所、街頭などでハングル文の質問用紙を配布して実施、回収。

Ⅲ 調査の背景

1. 英国の場合

(1) 一般的概況

総人口3億2,000万人の欧州単一市場をめざす1992年末のEC統合を前にして、日本企業はそれまでにEC域内企業に認知されようと積極的なインサイダー化を進めており、とくに英国への進出が急激なテンポで展開されている。その理由としては、英国政府はじめ地方自治体や地元諸団体など官民あけて日本企業の誘致に極めて熱心なことと、日本企業としても言語問題や労働者の質、国民性などを考慮すると、英国志向が強くならざるをえないことなどが挙げられる。

いかに日本企業が英国へと「草木もなびく」状況にあるか、1989年版の『ジェトロ白書』⁽¹⁾でみると、1987年度の日本の対英直接投資(届け出ベース)は前年比が実に2.5倍の24億7,300万ドルで、対欧投資全体の37.6%を占め、88年3月の投資残高(届け出ベース)は累計65億9,800万ドルに上っている。このためEC内に占める対英直接投資の比率は高まるばかりで、1985年の全世界比率3.8は88年には8.5にまでシェアがアップしている。⁽²⁾

大企業から部品工業に至るまでが英国へ英国へと進出しつつあるのが現状である。89年末の在英日本企業製造業数は113社。⁽³⁾

(2) サンダーランド地区と日産自動車

サンダーランド市は、イングランド北東部の北海に面した工業都市であり、人口約30万人。最初はウェア川の河口にある辺鄙な漁村であったが、産業革命時に後背地のノーザンブリア炭田の石炭を利用した機械工業が勃興し、世界最初の近代的な造船所も、ここに生れるなど、近くのニューカッスルなどと共に一大工業地帯を形成した。それが第2次大戦後、急激に斜陽化したものの、今また勢いを盛り返し、ニューカッスル、ウォールセンド、サウスシールズなどと連合都市を形成して、人口は合わせて85万人。鉄鋼業、自動車、機械、化学工業などで活況を呈している。

ちなみに、ここは世界的なベストセラーとなった『大国の興亡』の著者、ポール・ケネディが生まれ育った故郷である。

日産自動車は、1984年4月、9400万ポンドを投じて現地法人の英国日産自動車サンダーランド工場を建設し、86年7月から操業を開始しているもので、生産能力はブルバード（英国名オースタ・1600～2000 C. C.）クラス乗用車15万台、1989年の生産実績は6万台である。1992年までには20万台の生産能力を持つまでに設備を拡張する予定にしている。従業員は1800名、うち日本人40名である。

国道A19号線とA1231号線が交差するあたり、広々とした工業団地に建つ日産サンダーランド工場を訪ねると、オフィス、工場内ともに明るさ、清潔さがめだち、在来の英国の工場とは全く違った雰囲気の世界であることが分る。英国人の従業員にはタイムカードも使用せず、人間性の重視がはかられる一方、能力主義、参加意識が求められ、フレキシビリティ（義務の柔軟性）とモビリティ（自由な配転）が期待されている。

これらは、これまでの英国の職場には、ほとんどなかったことである。

従業員の大部分は工場から20キロ圏内に住み、一部が50キロ圏から通勤している。

(3) ダービー地区とトヨタ自動車

1989年4月18日、トヨタ自動車は英国南ダービー・シャーのバーナストーン

村に7億ポンドを投じ自動車組立て工場を建設すると発表した。計画によると、敷地面積は280エーカー（約112万㎡）、1990年春から建設に着工し、92年から操業開始予定で、生産能力はカーリーナⅡ（1800C. C.）クラス乗用車20万台（ただし、当初は10万台）、ローカル・コンテンツは93年8月までに60%、95年半ばまでに80%をめざすというものである。このバーナストーン工場のほかに北ウェルズのディサイド工業団地ショットン地区には同時期までに1億4000万ポンドを投じてエンジン工場をつくることにしている。

バーナストーン村は、バーミンガム市から北へ53キロ、ダービー市の南西約9キロのところにあり、交通は高速道路のM1とM6をリンクする道路が縦横に走り、極めて至便である。

ロンドンから車を走らせ、バーナストーン村をめざすと、高速道路のM1から一般道路に出たとたん、ミッドランドのゆたかな田園風景が広がり、時折り、ソバ猪口（ちょこ）を逆に伏せたような不思議な形をした煙突群が目飛びこんでくる。あたりは産業革命の当時から機械、繊維、化学、食品工業の中心地として栄えてきたところなのである。

バーナストーン村の人口は僅かに250人、その大半は第一線の仕事から引退して今は悠々、老後の生活を送っている人たちであり、村にはパブ、食料品店など一軒もない。買物はダービー市まで車で出かけてすますという。村きっての大地主の家にかがうと、「はるばる日本からトヨタがやってくるのは、村にとって大変、光栄だけれども、公害が心配です」と若い美貌の夫人がいていたが、ダービーにあるカウンティ・カウンシル（地区協議会）はトヨタの進出に大賛成なのである。

バーミンガムまで合わせると、周辺の人口は、400万人。トヨタ自動車では従業員の確保は全く問題ないとしている。

2. 韓国の場合

(1) 一般的概況

韓国経済は、1986年にGNPの成長（実質ベースで12.2%の成長）、物価の

安定(対前年比で卸売物価がマイナス3.7%、消費者物価がプラス1.3%)、国際収支の黒字(貿易収支で43億ドルの黒字、経常収支で45億ドルの黒字)という3つの目標を同時に達成して以来、アジア NIES の優等生としての道をひた走っているが、87年の6・29民主化宣言を契機にして全国的な規模で労使紛争が続発し、賃金の上昇とさらにウォン高、インフレ気配も出てきて、87年までつづいていた旺盛な日本からの投資意欲も、このところ急激にスローダウンする傾向にある。

1989年版『ジェットロ白書』によると、1987年度の日本の対韓直接投資(届け出ベース)は前年度比48%増の6億4700万ドル、このうち業種別では、ソウル・オリンピックと今後の観光部門の活況を見込んだホテルなど宿泊業への投資が全体の4分の1を占めてトップ、次いで近年、輸出の伸びが著るしい電子・電気機械製造と自動車部品を中心とした輸送用機器に投資が行われている。宿泊業を除けば、製造業へのシェアが極めて高いのが日本からの投資構造の特徴であり、またそれだけ工業生産面における結びつきが強いといえる。

製造業の日系企業数は、88年6月現在で776社。このうち日本側持ち株50%以下が61.7%、日本側全額出資企業が21.7%となっている。⁽⁴⁾

全般的には中小企業の進出が多い。

(2) 蔚山地区と現代自動車

人口70万人までに膨れ上った慶尚南道の東海岸にある蔚山市は、もとは太和江が形成した沖積平野に位置する農漁村であったが、1962年からの第1次韓国経済5か年計画で韓国工業化のモデルとして、当時、登場したばかりの朴正熙政権がここに工業団地を建設したため、地域の様相が一変し、韓国屈指の重化学工業都市となったものである。工業団地の規模は340万㎡におよび、市域の20%に上る。

ここに石油化学コンビナート、造船、自動車、化学肥料、精密機械などの工場が建ち並んでいるが、中心的な存在は何といても現代自動車の蔚山工

場であろう。ここで年間100万台の乗用車が生産(1988年)され、うち60万台が輸出となり、国家経済上の最重要産業と位置づけられている。

現代自動車蔚山工場を訪ねると、最新鋭の設備を持つ工場内では24時間体制で続々と乗用車が生産されており、案内役の広報部員が誇らしげに生産ラインを説明してくれる。技術提携は三菱自動車であり、輸出用の車には三菱製エンジンが搭載されているといわれる。

1969年、現代財閥の総帥、鄭周永氏が私財を投じて開設した蔚山工科大学は、85年には総合大学としての蔚山大学となり、現在、人文、社会科学、自然科学、工学、造形、医学の6学部(単科大学)で、合計8000人の学生が学んでいる。今回のアンケートに協力したのは、この大学の学生たちである。

(3) 馬山・昌原地区と日本企業

馬山と昌原は、慶尚南道の南部に位置する隣り合わせの都市である。馬山が都市化した歴史は古い。1899年には外国人居留地もある国際港として開港し、やがて地方工業も興り、日本統治時代には同じ鎮海湾にある海軍の要港、鎮海とともに発展した。解放後は、1960年に李承晩政権の崩壊の導火線となった馬山事件が発生し、朴正熙政権下では70年に外貨獲得を目的とした「馬山輸出自由地域」が設置され、製品の全量輸出を条件に関税免除、国内税の減免措置などがとられ、日本企業を中心とする外国系企業の導入がはかられた。総面積は66万 m^2 。

日本の進出企業はピーク時には115社に上り、雑貨、縫製加工品、弱電気、金属工業、電子部品、工具製造などの日本企業が人件費の削減を目的として続々と入ってきた。

ところが、韓国経済の体質強化や国内世論の変化にともなって80年半ば以降、優遇措置の多くが解除され、さらに87年の6・29民主化宣言いらい労組が結成され、賃上げ要求が激化して経営難から撤退する企業が続出し、89年末現在の日本企業は約70社にまで減少している。89年10月14日、日本本社からの一枚のファックスで「倒産、全員解雇」の通知を出し、現地労働者との

間に深刻な摩擦を引き起した韓国スミダ電機は、ここの「入住企業」であった。(ただし、調査の時点では操業中)。

馬山市の人口は約48万人。

昌原は、馬山市に隣接する平野に位置し、水田地帯であったが、1973年に重化学工業計画が発足すると同時に韓国最大の政府直轄工業団地が280万㎡の新造成地に建設され、にわかに韓国有数の工業都市に変貌したものである。80年には市に昇格し、その後、慶尚南道の道庁も、ここに移されている。人口約15万人。

昌原のニュータウンに入ると、道幅六車線のメインストリートが一直線に10キロ以上もつづき、その両側には鉄筋コンクリートの真新しいアパート群や役所、ホテルなどの建物が並び、きれいに整頓された工業団地とともに、ここがまさに韓国近代化の象徴であることがわかる。

今回のアンケートに協力してくれた昌原専門大学は、南海高速道路から昌原市に入って直ぐの小高い丘陵に建っており、現在の裴徳煥学長は88年初めまで10余年にわたり亜細亜大学の客員教授をつとめられた篤学の士である。

昌原市には、馬山の場合と違い、100%全額出資の日本企業はないが、シチズン時計(腕時計の組立て)が97.65%の日本側出資比率、星電商事(光学ガラスのプレス加工)が95%の日本側出資比率で操業している。

Ⅳ 評価・分析の方法

10項目の質問に対し寄せられた「自由記述」の回答を「肯定」「否定」「中立」に分けて評価し、分析した。ただし表にするに当っては、答えが空欄になっていた「無記入」は表1、表2、表3、表9、表10の場合、「中立」のところに便宜的に加えた。

また質問6と質問7の場合には回答の企業名をイニシャルに切り換えた。

V 調査結果とその評価・分析

1 一般的な対日観

英韓両国の工業都市での対日イメージを比較して、英国人(肯定87.9%)のほうが韓国人(肯定39.6%)より好意度が高いことは、過去の歴史をふり返ると、最初から、あるていど予想されたことではあるが、これほどまでに差があること、また韓国人の中でも経営関係の学生や公務員に否定的な見方が非常に多いことは、意外であった。日本語や日本文学を専攻する学生、あるいはコンピュータ関係や観光科で学ぶ学生に好感度が高いのは、現在の学習状況、将来の就職見込みなどを考慮すると、当然の帰結といえよう。しかし日語日文科の学生のうち、上級生3年の場合、中立的見解(45.8%)が多くなるのは、なぜであろうか。日語日文科3年の自由記述には「日本を知り、日本を追い越すために、日本語を習っているが、日本を肯定的に見る気にはどうしてもなれない」「日本語を勉強するのは、あくまで韓国の発展のためであり、韓国は日本を利用すべきだ」「日本に習うところも多いが、完全には信頼しない。反感も強い」「日本人の勤勉性や日本の技術力は高く評価するが、裏と表のある二重性の性格を持つ民族という気がする」といった懐疑的な見方が増えており、学習がストレートに親近感の増大に結びつかないことを物語っている。これには日本人の対韓姿勢が大きくあずかっているだろうし、また周囲の学生から「日本語を学ぶことに反発されることが多い」(インタビューの結果、得られた声)ことも、ひとつの原因と思われる。

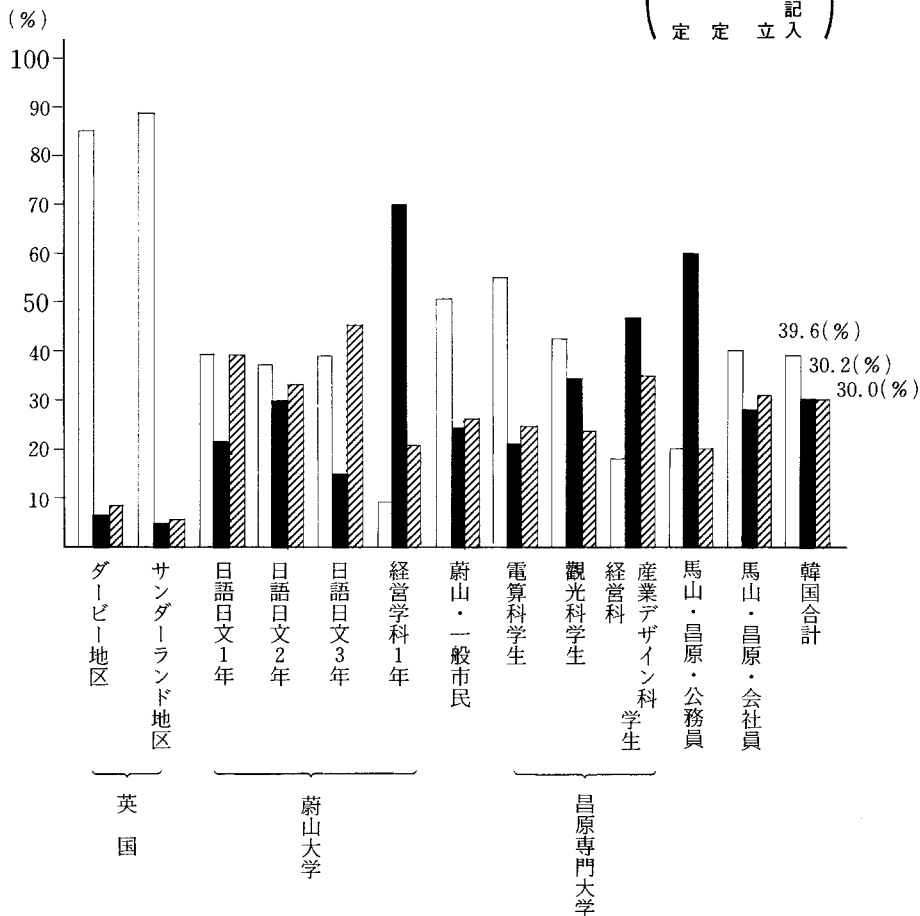
経営を学ぶ学生の意見では「日本人は利己的で機会主義の集団、どの国よりも経済面では最高になりたいと思っている」(蔚山大学経営学科1年・男・19歳)「天皇を中心にして団結するのは高く評価する。日本は金があるものの、日本人が豊かとは決していえない」(昌原専門大学経営科2年・男・年齢記入なし)「彼らは経済市場の動物だ」(同1年・男・30歳)というものもあるが、これらは決して韓国社会では突出したものではなく、韓国人一般に共通する

〔英韓両国工業都市での対日意識調査結果比較〕

89年 8 月～10月実施

表1 日本および日本人についてどう思いますか

□	■	▨
肯	否	中
定	定	立入



心情であろう。

韓国の一般市民のうち、公務員に否定的な答えが多いのは、学校時代に受けた反日的な教育状況と雰囲気をもそのまま持続し、仕事の上では競争社会でないことから、来ているものと思われる。これと対照的に、日本の企業など

と接解することの多い会社員には肯定的な態度が強い。

英国人の見方は、日本人の勤勉性、真面目さ、清潔好き、ひいてはその経済力を賞賛するのが一般的である。ダービー地区では日本企業により新たに雇用が創出され、サンダーランド地区ではその経営実績を目のあたりにしており、しかも EC 域内での経済的地盤を日本企業の協力によって得られるという見通しがあるのだから、両地区とも好意度が高いのは当然といえる。

2 日本の工業力・技術力評価

日本の工業力・技術力が極めて高いことを認めるのは、英国(97.8%)、韓国(81.5%)とも同じである。

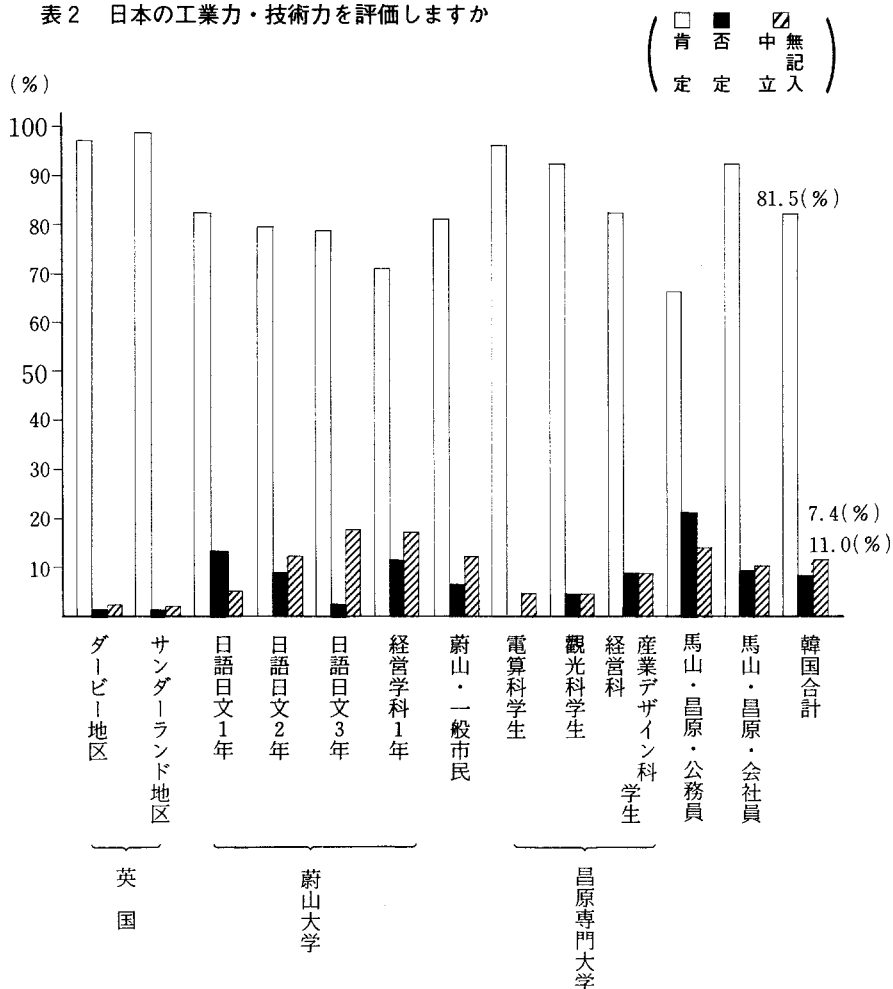
英国では、若者も老人も、あるいは学生であれ、仕事を持つ者であれ、そのほとんどが「ベリー・グッド」と答えている。

韓国では、公務員に若干、肯定度が低く(66.6%)、否定度が2割(20%)に達しているが、この意見の中では「世界第一位として、もっと向上していくものと思う」(馬山・昌原地区・市役所勤務・男・37歳)という声がある一方、「日本の工業、とくに技術は、とても繊細だと評したい。しかし技術を盗もうとする面から見ると、とても先進国とは思えない」(同・公務員・女・25歳)と、複雑な心境がうかがえる。

これに対し、電算科学生には否定的な見方はゼロである。賛成的意見には「奇抜なアイデアがひっきりなしに出てきて、しかも彼らの努力で製品化でき、その工業力と技術力は世界一だと思う」(昌原専門大学電算科2年・男・年齢記入なし)「とくに半導体産業や電子関係の分野では世界がびっくりするくらい最高のレベルにある」(同・女・年齢記入なし)といった声があり、肯定的な答え(96.0%)は韓国人各グループの中では最も高い。

韓国の一般市民でも好意度が増すのは会社員で、日本人と実際につきあったうえで「責任感があり、開発能力が極めて優秀である」(蔚山市・会社員・男・49歳)という声になってあらわれている。

表2 日本の工業力・技術力を評価しますか

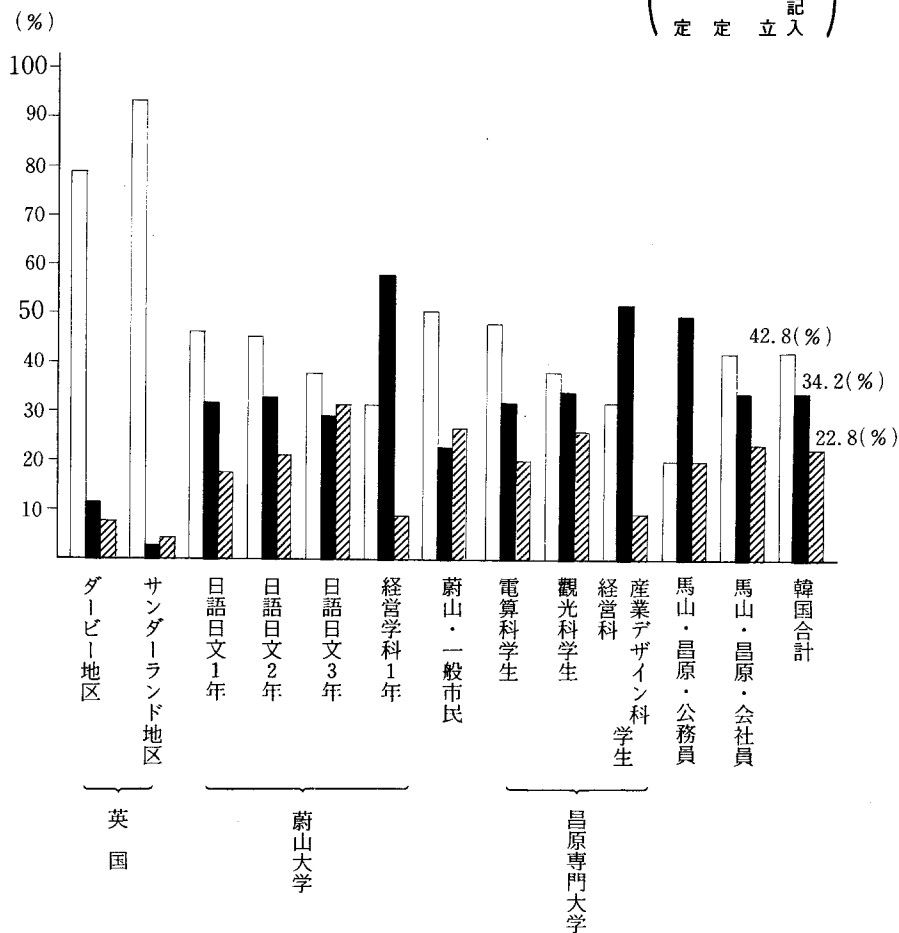


3 日本の独創性

日本人は「製品改良能力は高いものの、独創力はあまりないのでないか」と、これまで通説的にいわれていたが、今回の調査では経営学や産業デザインを

表3 日本人には独創力があると思いますか。

□ 肯 定
 ■ 否 定
 ▨ 中 立
 (無 記 入)



学ぶ学生と公務員をのぞき、日本人の独創性を認めるものが多い。英国では圧倒的に独創性を肯定(85.5%)し、また韓国でも平均すると肯定(42.8%)が否定(34.2%)、中立(22.8%)を引き離している。これは日本の工業力・技術力の評価と関連したものといえる。

しかし、電算科学学生で、否定(32.0%)が3分の1近くもあるのは注目すべきで、「独創力はなく、模倣にのみ秀れている」(昌原専門大学電算科2年・男・年齢記入なし)「過去から現在まで、そして恐らく将来に至っても、独創力はないと思うが、彼らの模倣力はすばらしい。これは、日本人の教育の在り方にも原因がある」(同・女・年齢記入なし)といった考えは、その代表的なものである。

このほかの学生の意見では「日本人はすべてをコンパクトにしてしまう独創力がある。模倣は創造の母というし、それはそれでいいのでないか」(昌原専門大学観光科・女・22歳)というものもある。総じて、日本人の独創性を卒直に認めるのではなく、模倣性も強いというのが一般的な韓国人の見方であり、直接のインタビューでも「ノーベル賞の自然科学部門で日本人の受賞者が少いのは、独創的な基礎研究が欠落している証拠でないか」との声は、何人もの学生から聞かれた。

4 日本人を動物にたとえると

日本人像を動物のイメージで描いてもらったのが、この質問であるが、英国人から見た日本人は圧倒的にアリ(54.9%)であり、以下、働きバチ(12.0%)、チンパンジー(7.2%)、ボノボ(4.7%)、ドラゴン(3.8%)、モンスター(2.5%)の順、韓国人から見た日本人は、さらに大きな比率でキツネ(69.1%)としてとらえられ、以下、ヘビ(8.1%)、ネコ(8.0%)、サル(5.9%)、ネズミ(5.5%)の順となっている。

アリと働きバチは、共に集団で懸命に働く昆虫であり、またチンパンジーとボノボは、サル類の中でも最も知恵のある動物として有名である。ちなみにボノボとはピグミー・チンパンジーのことである。ドラゴンは次に来るモンスターと同じく怪獣であり、今、世界の土地や建物などを買いあさっている日本人の姿は、まさにこのイメージにぴったりなのかも知れない。

韓国人が7割近くまで挙げたキツネの場合は、ずる賢さと人をだます狡猾

表4 日本人を動物にたとえると何ですか(答えは
いくつでも可)

1. 英国人から見た日本人は?

2. 韓国人から見た日本人は?

動物名	人数	比率
ア リ	128	54.9
働きバチ	28	12.0
チンパンジー	17	7.2
ボノボ	11	4.7
ドラゴン	9	3.8
モンスター	6	2.5
ゴリラ	5	2.1
ウサギ	4	1.7
シ カ	3	1.2
ネ コ	〃	〃
イ ヌ	〃	〃
ネズミ	〃	〃
イタチ	〃	〃
ビーバー	〃	〃
フクロウ	2	0.8
ワラビー	1	0.4
オットセイ	〃	〃
タ カ	〃	〃
ワ シ	〃	〃
ワ ニ	〃	〃
バ ク	〃	〃
ヘ ビ	〃	〃
サ イ	〃	〃
オウム	〃	〃
ツ ル	〃	〃
無 記 入	7	3.0
延 人 数	245	
回 答 者 数	233	100

動物名	人数	比率
キツネ	363	69.1
ヘ ビ	43	8.1
ネ コ	42	8.0
サ ル	31	5.9
ネズミ	29	5.5
イタチ	20	3.8
カメレオン	17	3.2
オオカミ	〃	〃
ハイエナ	14	2.6
ア リ	13	2.4
イ ヌ	11	2.0
ウサギ	10	1.9
コウモリ	8	1.5
ドロボウネコ	5	0.9
チンパンジー	〃	〃
経済動物	〃	〃
モグラ	4	0.7
カラス	〃	〃
ヒョウ	3	0.5
野良ネコ	〃	〃
ハリネズミ	〃	〃
ク モ	〃	〃
タヌキ	2	0.3
ハ チ	〃	〃
シ カ	〃	〃
テ ン	〃	〃
リス・クジラ	いずれも	いずれも
トラ・スズメ	1	0.1
カササギ・シカ		
ドジョウ・ワニ		
ゾウ・カメ		
龍・タカ		
無 記 入	4	0.7
延 人 数	677	
回 答 者 数	525	100

(こうかつ)性、奸悪性のイメージであり、韓国人の日本人に対する警戒心をうかがわせる。邪悪なものとして思い浮べられているのは、ヘビも同じ。ネコについては「口達者なネコ」(蔚山大学日語日文科2年・女・21歳)「表面は優しそうにしているけど決して心は許せないネコ」(馬山・昌原地区・公務員・男・27歳)の説明で、あるていど理解できるが、ネコが果してマイナス・イメージのものかどうかは必ずしもいえない。民族の持つ動物のイメージは、それぞれ違っているからであり、このへんの検証はさらに進める必要がある。ウサギの評価についても、ネコと同様、プラス・イメージか、マイナス・イメージか、はっきりしない点がある。

全体的には、英国人は日本人を働らき者の動物でとらえ、韓国人は悪賢い動物で日本人を連想しているが、これも過去の歴史と現状からすると、無理からぬイメージかも知れない。

5 自らを動物にたとえると

民族によって、動物の評価が違うことは、前に述べたが、英国人は世界でも最もイヌ好きな民族といえよう。その英国人が自らを動物にたとえる時、過半数の人がイヌ(53.2%)と答えたのは当然といえる。

次いで比率はずっと下がるが、ウマ(7.2)、マッピンテレス(5.5%)、ナマケモノ(5.1%)、オカピー(同)の順となる。乗馬愛好家も英国には多い。そして競馬場は華やかな上流社会の社交場にさえなる。颯爽(さっそう)たるウマ!これは過ぎし日の大英帝国の幻影ともオーバーラップして、英国人にとっては、あるべき理想の姿として映るのであろう。

マッピンテレスとは野生のヒツジのことで、ロンドン動物園では岩山の上にヒゲをのびしながら棲んでいる孤高の動物たちである。

これに対し、ナマケモノは、自虐的なイメージ表現にとるしかないが、日本人のように、彼らがあくせく働かないのも事実である。

一方、韓国人は自らを動物にたとえると、どうなるか。

表5 自国人を動物にたとえると何ですか（答えは
いくつでも可）

1. 英国人から見た英国人は？

2. 韓国人から見た韓国人は？

動物名	人数	比率
イヌ	124	53.2
ウマ	17	7.2
マッピンテレス	13	5.5
ナマケモノ	12	5.1
オカピー	〃	〃
キツネ	11	4.7
ネコ	10	4.2
ヒツジ	9	3.8
クマ	8	3.4
ウシ	5	2.1
イノシシ	4	1.7
サイ	3	1.2
タンチョウ	〃	〃
ライオン	〃	〃
コウノトリ	2	0.8
ジャコウネコ	〃	〃
カモ	〃	〃
ベリカン	1	0.4
ワシ	〃	〃
アシカ	〃	〃
ゴリラ	〃	〃
バク	〃	〃
無記入	4	1.7
延人数	247	
回答者数	233	100

動物名	人数	比率
クマ	242	46.0
トラ	128	24.3
ウシ	104	19.8
イヌ	54	10.2
ネコ	23	4.3
ウサギ	12	2.2
カメ	11	2.0
タヌキ	8	1.5
ヒツジ	6	1.1
ミミズ	〃	〃
ブタ	3	0.5
アリ	〃	〃
シカ	2	0.3
ヤギ	〃	〃
ゴキブリ	〃	〃
スズメ	〃	〃
ヒツジ	〃	〃
ガマガエル	〃	〃
ツバメ	1	0.1
カエル	〃	〃
サル	〃	〃
ツル	〃	〃
オオカミ	〃	〃
コウモリ	〃	〃
馬追ムシ	〃	〃
クジャク	〃	〃
ライオン	〃	〃
無記入	38	7.2
延人数	659	
回答者数	525	100

第一位はクマ(46.0%)、次いでトラ(29.3%)、ウシ(19.8%)、イヌ(10.2%)、ネコ(4.3%)の順である。

古くクマは韓国人にとって聖なる動物であった。檀君神話によると、人間

の女に変身したクマが天神の子である恒雄と結婚して産んだのが古朝鮮の始祖、檀君王儉とされる。クマはシャーマンの守護神でもあり、病気をいやす霊獣とみなされているものだが、この神秘性と、実際のクマの鈍重性が、自らを動物にたとえる時、ぴったりとイメージが合致したのではなかろうか。

トラも、クマと同じように韓国の神話的シンボリズムでとらえられる。1988年のソウル・オリンピックでは、トラの子供であるホドリがマスコットになったほどであり、山の神の化身(けしん)と考えられている。韓国民にとって、トラは豊穡の表象であり、愛すべき存在なのである。

ウシについては「まめまめしく働らき、忠実である」(馬山・昌原地区・公務員・女・20歳)の自由記述が、その理由を単的に語っている。

韓国側の回答で注目すべきは、無記入(7.2%)が意外とあったことで、「自分たちを動物にたとえたくない」の答えも散見された。

6 世界的に有名な日本製品

今、日本の製品は、世界を駆けめぐっている。それが日本国内で生産されたものであろうと、現地の工場で作くり出されたものであろうと、日本のブランドに対する信用は、ますます高まっている。

英韓両国の工業都市周辺の住民は、そのような状況下、どんな日本製品を、世界的に有名なものとして捕捉しているのだろうか。

答えは、英韓両国とも、国際企業としての地盤の揺ぎない SO 家電(英国で41.6%、韓国で45.3%)が断然、トップ。SO 家電の製品の場合、テレビ、ビデオ機器、テープ、ステレオ音響、CD 機器、ウォークマンと様々な種類があるが、その有名度はやはり他を圧している。英国で2位はP家電(24.0%)、韓国で2位はM家電・自動車(17.3%、単にMの名前だけ挙げた人も多い)となっているが、これらはいずれも当該企業の地域に対するコミットメントが強いからである。

ただ韓国で、無記入(4.9%)が意外に多いことと、ペンシル(4.9%)、カッ

表6 世界的に有名な日本製品（商品名もしくは企業・ブランド名）は？

(答えは
いくつでも可)

※答えの企業名は実名であったが、ここではイニシヤル名に変更

1. 英国人が挙げたのは

商品名・ ブランド名	人 数	比 率
SO 家電	97	41.6
P 家電	56	24.0
T 家電	31	13.3
H 自動車・二輪	29	12.4
N 自動車	17	7.2
M 家電	15	6.4
F 写真フィルム	9	3.8
SA 家電	7	3.0
K 電卓・時計	6	2.5
T 自動車	〃	〃
C カメラ	4	1.7
SA 家電	3	1.2
N カメラ	2	0.8
以下略	1×9	0.4
無 記 入	2	0.8
延 人 数	293	
回 答 者 数	233	100

2. 韓国人が挙げたのは

商品名・ ブランド名	人 数	比 率
SO 家電	238	45.3
M 家電・自動車	91	17.3
なし	87	16.5
SA 家電	85	16.1
K 電卓・時計	78	14.8
P 家電	38	7.2
S ペンシル	26	4.9
カップラーメン	15	2.8
Z まほうびん	〃	〃
H 自動車・二輪	13	2.4
H 重電	12	2.0
F 写真フィルム	11	2.0
電気がま	10	1.9
S 化粧品	8	1.5
以下略	7×2	1.3
	6×3	1.1
	5×1	0.9
	4×4	0.7
	3×2	0.5
	2×4	0.3
	1×3	0.1
無 記 入	26	4.9
延 人 数	823	
回 答 者 数	525	100

ラーメン(2.8%)、まほうびん(同)など雑貨、インスタント食品を上位に挙げているのは、日本に対する皮肉としてとるべきでなく、むしろ、日本の製品に対する理解が薄いことから来ていると判断される。たとえば、完全な日本の技術協力で、組立てられている有名日本ブランドのオートバイやカメラなどが韓国の企業名を名乗って売られている(このことは他の外国では考

えられないことだが) ことから、本来は日本の製品であっても、その事実を知らないということも考えられる。

韓国で刊行されている総合雑誌(新聞社発行のもので有名なものが4種ある)のカラー・グラビア広告にも、日本企業の広告はほとんどなく、各総合雑誌とも100ページにおよぶカラー広告のうち、だいたい半分が韓国企業のもの、残りの半分が欧米企業のものである。これは日本企業が「逃げの姿勢」をうっているからと思われる。

英国では日本企業の評判は極めて高く、家電製品はじめ工業製品のあらゆる分野で日本製品が英国あるいは他の外国製品を駆逐しつつある。無記入者(0.8%)が極めて少いのも、その証左である。

7 わが家にある日本製品

この問いに対する答えは、前の項目と、あるていど関連した関係にあるが、韓国で日本製品がわが家にないとする者が1位(30.6%)にあるのは特筆に値する。「そんなものを持つべきでない」(馬山・昌原地区・公務員・男・38歳)という声もあり、無記入者(4.7%)と合わせると実に3分の1にも達する。

韓国で、ペンシル(7.0%)、ボールペン(4.9%)、電気カミソリ(3.8%)、化粧品(2.8%)、まほうびん(2.2%)、ヘアドライヤー(1.9%)、アイロン(同)、コーヒーわかし(1.7%)、鉛筆(同)、炊飯器(1.5%)、文房具(同)、工具(同)、ミキサー(同)と挙げられているのも、前項目と同様に、日本への皮肉ではなく、そのような大衆商品の生産が韓国ではまだ十分に育っていないことから来ているものと思われる。

英国で、工具(3.4%)、釣り具(0.8%)、眼鏡(同)などが挙げられているのは、これらの商品を日本の進出企業が、この地で製造しているからである。

現在、英国の家庭を訪問して、日本製品が皆無というのは、これを見つけたことのほうが困難であり、どんな片田舎の家庭にも何らかの日本製品が行き渡っている。

表7 わが家にある日本製品（商品名もしくは企業・ブランド名）は？

(答えは
いくつでも可)

※答えの企業名は実名であったが、ここではイニシアル名に変更

1. 英国人が挙げたのは

商品名・ ブランド名	人 数	比 率
SO 家電	68	29.1
P 家電	39	16.7
F写真フィルム	33	14.1
K電卓・時計	28	12.0
T 家電	19	8.1
なし	18	7.7
N自動車	15	6.4
SA 家電	〃	〃
M家電	14	6.0
H自動車・二輪	11	4.7
S 工具	8	3.4
C時計	6	2.5
SY 家電	5	2.6
S自動車・二輪	〃	〃
Cカメラ	3	1.2
O釣り具	2	0.8
H眼鏡	〃	〃
H家電	〃	〃
以下略	1×11	0.4
無 記 入	3	1.2
延 人 数	307	
回答者数	233	100

2. 韓国人が挙げたのは

商品名・ ブランド名	人 数	比 率
な し	161	30.6
SO 家電	94	17.9
SA 家電	56	10.6
Sペンシル	37	7.0
ボールペン	26	4.9
K電卓・時計	25	4.7
P 家電	22	4.1
M家電	21	4.0
電気カミソリ	20	3.8
T重電	18	3.4
化粧品	15	2.8
F写真フィルム	14	2.6
Zまほうびん	12	2.2
カセット	〃	〃
時計	11	2.0
S自動車・二輪	〃	〃
ヘアドライヤー	10	1.9
アイロン	〃	〃
コーヒーわかし	9	1.7
M鉛筆	〃	〃
炊飯器	8	1.5
録音器	〃	〃
文房具	〃	〃
工具	〃	〃
ミキサー	〃	〃
以下略	7×3	1.3
	6×2	1.1
	5×2	0.9
	4×3	0.7
	2×5	0.3
	1×7	0.1
無 記 入	25	4.7
延 人 数	732	
回 答 者 数	525	100

8 有名な日本人の名前

これまでのところでみたように、英国人の対日意識は一般に極めて好意的である。この点、かつての日英同盟のような友好関係の復活を想起させるものがあるが、ここで最も問題なのは、この質問に対する英国人の答えである。回答者233名のうち、日本人の名前を知っていたのは天皇を含めて、たったの16人だけ(0.6%)。その天皇の名前も、昭和天皇とまで記入したのは僅かに1人。「UNO」との記入が2人(0.1%)あったのは、調査時点が1989年8月で、芸者スキャンダルのため、それまで首相だった宇野氏が退陣に追い込まれた直後だったことから、その印象が強かったにすぎないであろう。その証拠に、海部首相の名前を挙げている人は誰もいない。芸者ガールは具体的な固有名詞でないが、日本人の名前があまりにも少ないため、あえて数値化した。政治家では、むしろ社会党の土井委員長の名をダービー市の労働党地区リーダー(男・45歳)が記入している。山本寛斎や武満徹、鈴木阿久里の名前を知っていたのは極く一部のファン。東郷平八郎の名は、サンダーランド地区の会社員(男・52歳)が挙げているが、東郷はネルソンに比せられる海軍の名将としてだけでなく、若き日に軍艦引取りのため、この地を訪れたことがあり、それが重なって、回答者の頭に残ったものと思われる。

それにしても、英国人がこれほどまでに日本人の名前を知らないという事実は、彼らが、いかに日本の工業製品に愛着を抱き、日本人に親しみを覚えて、やはり日本そのものが遙かに遠いファーイースト(極東)の国という認識でしかないことを率直に示すものであろう。

この点、韓国側の答えでは、1人の回答者で3人以上もの日本人の名前を書く人が約半分(52.1%)もあり、このことはたとえ、その名前が敵対視するものであろうと、それほど日本人が身近かな存在として意識されていることを示している。しかし、反面、日本人の名前を全く記入しない人が103名(19.6%)もあることは、名前を挙げること自体がはばかれるという嫌悪感

表8 有名な日本人の名前を知っていれば挙げて下さい

(答えはいくつでも可)

1. 英国人からの答え

日 本 人 名	人 数	比 率
(昭和)天皇	5	0.2
芸者ガール	3	0.1
宇野(宗祐)	2	0.1
山本寛斎	1	0.1
武満 徹	〃	〃
東郷平八郎	〃	〃
小野ヨーコ	〃	〃
鈴木阿久里	〃	〃
土井(たか子)	〃	〃
知らない・ 無 記 入	217	93.1
延 人 数	233	
回 答 者 数	233	100

2. 韓国人からの答え

日本人名	人 数	比 率
中曽根(康弘)	254	48.3
伊藤博文	96	18.2
豊臣秀吉	93	17.7
ヒロヒト(天皇)	71	13.5
少女隊	62	11.8
竹下(登)	46	8.7
宇野(宗祐)	32	6.0
徳川家康	31	5.9
三浦綾子	25	4.7
田中(角栄)	20	3.8
アントニオ猪木	15	2.8
斎藤(柔道)	14	2.6
釜本(サッカー)	11	2.0
少年隊	10	1.9
夏目漱石	〃	〃
以下略	9×1	1.7
	8×2	1.5
	7×2	1.3
	6×3	1.1
	5×1	0.9
	4×1	0.7
	3×2	0.5
	2×3	0.3
	1×5	0.1
無 記 入	103	19.6
延 人 数	976	
回 答 者 数	525	100

を物語っている。

中曽根氏の名前を挙げている人が全回答者の過半数近く(48.3%)に達しているのは、中曽根氏が現職の首相として真っ先に訪韓したことから来たものと思われる。

2位の伊藤博文(18.2%)、3位の豊臣秀吉(17.7%)は、いずれも、韓国人にとっては憎むべき「敵役」(かたきやく)である。

三浦綾子(4.7%)、夏目漱石(1.9%)の名を挙げたのは、ほとんどが日語日文科の学生たちである。

9 日本および日本人は友人か

この質問に対する答えも、英韓両国では対照的なコントラストを描いており、英国では好意度が圧倒的(93.5%)なのに対し、韓国では中立(42.2%)、否定(34.2%)、肯定(23.4%)の順となっている。

英国側の答えの中から主な声を拾うと

「彼らは我々の国で素晴らしい製品を生みだしてくれる。これが友人でなくてなんであろう」(ダービー地区・会社社長・男・54歳)

「友人だ。そしていい意味の競争相手だ」(ダービー地区・ガレージ経営・男・52歳)

「もちろん友人。彼らはトラブルを持ち込まないし、逆に我々は彼らから一生懸命に働くこと、アイデアの数々を学ばなければならない。」(ダービー地区・大学院生・女・26歳)

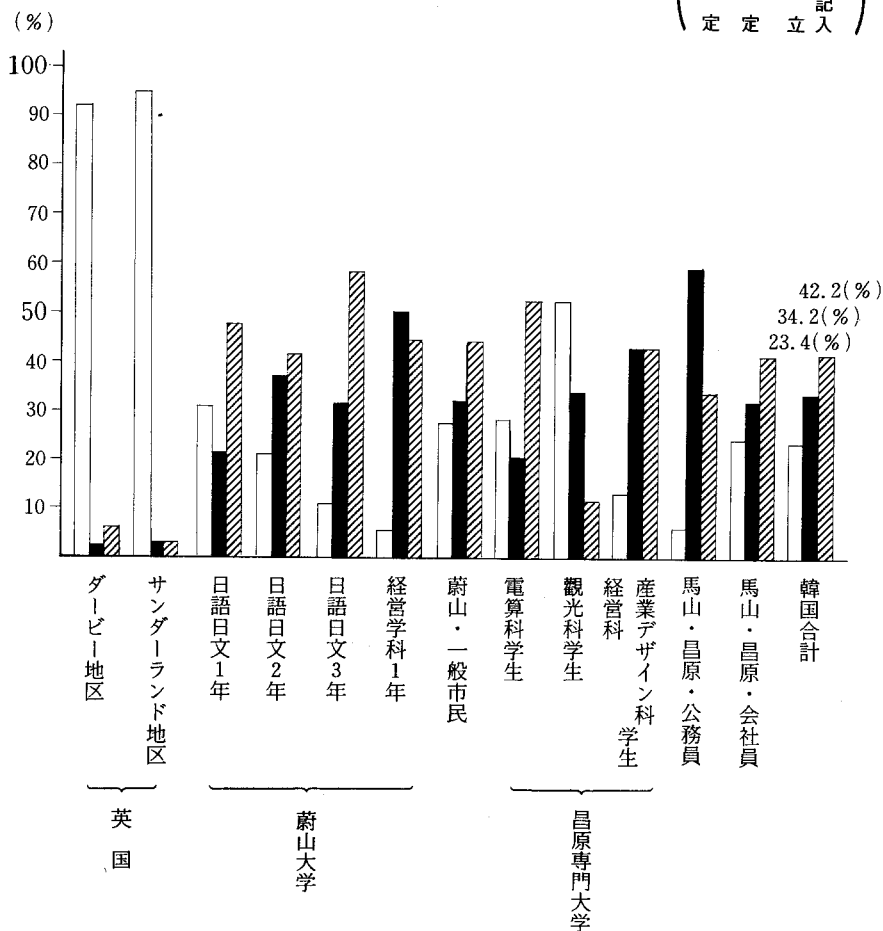
「私は取引の上で僅かな日本人としか会ったことはないけれど、彼らはとても礼儀正しく、気くばりも心やさしい。ただ、彼らが今少し、英語が上手だったら、他の国からやってきた多くの外国人のように交際を深めることができるし、彼らの心の内側も、もっと分るだろうに、と思う」(サンダーランド地区・ビジネス・コンサルタント・女・年齢50台)

「彼らは絶望の淵におちこんでいる我々を救ってくれる友人である。この国で、彼らがあらゆる分野で行っている見事な生産技術はヨーロッパの中でも誇りになるものだし、第一、雇用の創出面でも、どれだけの恩恵を、わが国に与えていることか」(サンダーランド地区・商店主・男・38歳)

英国人は、そのほとんどが手放しの礼賛論である。

表9 日本および日本人は将来に向って友人(味方)ですか。

□ 肯 定
 ■ 否 定
 ▨ 中 立
 ▩ 無 記 入



これに対し、韓国側は

「敵対感情が強い」(蔚山大学日語日文科1年・女・19歳)

「敵だと思うが、見習うこともある」(同・女・20歳)

「友達だが、その間柄が良くない友達である」(蔚山大学日語日文科2年・

男・19歳)

「彼らは本心を隠すから、友達になりようもない」(同・男・20歳)

「敵でもなければ味方でもない。21世紀のライバルだ」(蔚山大学日語日文科3年・男・26歳)

「友人とはいえない。否が応でも日本の技術と高度成長には目をみはらざるをえず、経済のためにだけに日本とつきあっている」(同・女・22歳)

「現在までは敵対心を持っているが、将来は手を取りあって進もう」(蔚山大学経営学科1年・男・19歳)

「日本人は韓国人を友人と思わないだろう。なぜなら、彼らは、わが民族を足元において見下げているのだから。そういう日本人を、我々は真の友人と思えるか」(同・男・27歳)

「小さい時は敵だと思っていた。しかし、今は親しい隣人だ」(蔚山地区・主婦・女・43歳)

「敵を愛せよ、という言葉があるように、わが国が発展するためには、敵でも友人にしなければならない」(昌原専門大学電算科2年・女・19歳)

「韓国人にとって得になることであれば友人であり、得にならないことでは敵である」(同・男・年齢記入なし)

「どうしても友人だと信じている。顔立ちや体つきも似ている」(昌原専門大学観光科2年・女・20歳)

「日本人は変わりやすい。自分にとって得になることは手当たりしだい何でもやる。そんな人間が友人になれるはずはない」(昌原専門大学経営科1年・男・年齢記入なし)

「昔は敵だったが、今は敵でも友人でもない微妙な関係だ」(馬山・昌原地区・会社員・女・23歳)

「表面では友人と思っているけれども」(同・会社員・女・29歳)

「たしかに隣りに住む友人だけでも、警戒しなければならない隣人だ」(馬山・昌原地区・公務員・男・44歳)

以上、ピックアップした自由記述の内容から分るように、韓国人の日本人に対する心情は複雑に揺れ動いている。

10 日本および日本人に期待するもの

世界の依存関係が一層、進んでいるなか、日本および日本人に期待するものは何か。英国人は「より深まった友情」(ダービー地区・パブ経営・男・45歳ほか多数)「相互の繁栄」(サンダーランド地区・大学生・女・21歳ほか多数)と答えるものが多く、また「もっともっと世界最高水準の製品を次々に生みだしてもらいたい」(ダービー地区・トヨタ自動車が進出することになっているバーナストン村居住のリタイアした元会社役員・男・61歳)「日本の女性はあまり自分のことをいわないらしいけれども、人生観なり、個性をはっきり打ち出してほしい」(ダービー地区・ホテル経営・女・45歳)という声もある。

直接インタビューした数多くの英国人を含めて、彼らの日本および日本人に対する期待は、極めて大きいものがあるというのが一般的な結論である。

これに対して、韓国人の反応は愛憎二重感情(アンビバレンス)にある。これも、過去の歴史、現状からいって、当然、辿らなければならない道程という気がする。声を率直に聞こう。

「他人の痛みが分る人間になれ！」(蔚山大学日語日文科1年・女・20歳)

「自分たちの過去を隠さず、誤まちを認め、まず謝罪せよ。そのあと、わが国が着実に発展するよう協力せよ」(蔚山大学日語日文科2年・女・21歳)

「真の日本文化をみせてほしい」(同・女・20歳)

「わが国を父母の国として遇せよ。かつて日本に文化を教えて育ててあげたのは韓国でないか。今、働き盛りとなった日本が韓国に恩返しをする時期である」(蔚山大学日語日文科3年・女・22歳)

「国防力を強化しないこと」(同・男・26歳)

「莫大な富と国力を利用して東アジアの平和と興隆に貢献してほしい」(蔚

山地区・会社員・男・44歳)

「信じられる日本人になれ」(昌原専門大学電算科2年・男・年齢記入なし)

「わが国(韓国)は少し日本とケンカしたほうがよい」(昌原専門大学観光科2年・男・27歳)

「昔のこそを忘れて、我々は交流すべきだ」(同・女・22歳)

「願うのは日本の滅亡だ!」(昌原専門大学経営科1年・男・20歳)

「日本および日本人は、この世から消えてなくなれ」(昌原・馬山地区・公務員・男・24歳)

「工業的には発展しているかも知れないけれども、社会倫理、道徳的には退廃している気がする。人間性の確立を!」(馬山・昌原地区・会社員・女・21歳)

「口だけでなく、本音でつきあいたい」(馬山・昌原地区・会社員・女・年齢記入なし)

「わが国の属国になることを望んでいる」(馬山・昌原地区・会社員・男・20歳)

「日本の物価が安くなって観光旅行がしやすいようにしてほしい」(馬山・昌原地区・会社事務員・女・年齢記入なし)

「あまりにも利己打算的だ」(馬山・昌原地区・会社員・女・年齢記入なし)

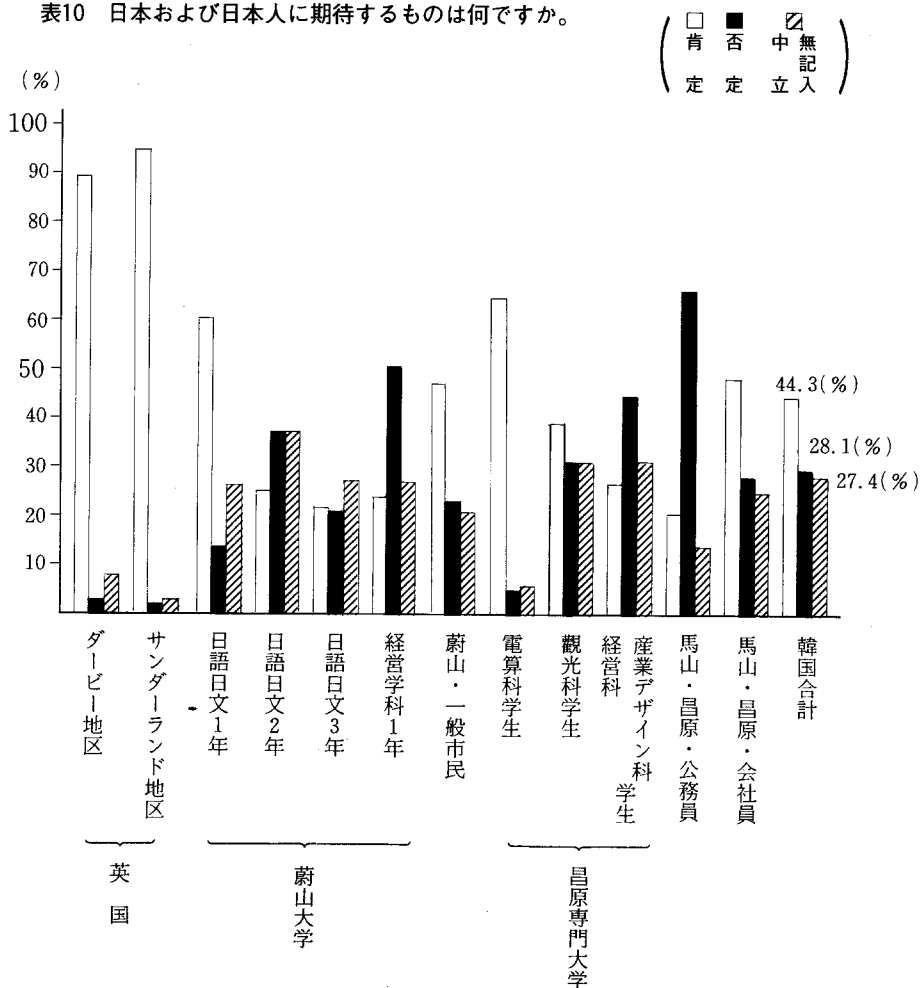
「日本がもう一度、敗北すれば」(同・女・24歳)

以上の声からも分るように、韓国人の日本および日本人に対する期待には一部、感情に走った面も感じられるが、なぜ、そうなったかについては、日本人が考えなければならない点であろう。

「期待したくない」「期待なし」も無記入と共に非常に多い。これは、場合によれば中立的意見というより、否定の立場とみるほうがいいかも知れない。そうすると、肯定(44.3%)否定(28.1%)中立・無記入(27.4%)という順位がわかり、否定のほうが肯定よりも多くなる可能性もある。

いずれにしても、問題解決の方法は、そう簡単ではなさそうである。

表10 日本および日本人に期待するものは何ですか。



VI おわりに

今回の対日意識調査の結果は、予想以上に英国人に好意度が高く、韓国人の場合は極めて厳しい現実、すなわち相当な反発や反感があることが分った。ただ今回の調査は、サンプル数もそれほど多くなく、調査方法も英国と韓国

ではやり方が違い、単純に比較するのには問題がある。しかし、国や地域の特性、あるいは職業、学生の専攻分野、その他、所属集団の違いによる意識差は、あるていど浮き彫りにされたのではなかろうか。

これまで工業都市を中心とした、この種の調査は、ほとんどなされておらず、とりわけ英韓両国での実施は稀有のことではなかったかと思う。

ここで強調しておきたいのは、英国での日本評価が高いといっても、まだ英国人はそれほど日本人と接触してはおらず、対日知識も限られ、「遠い他人」でしかないということである。その証拠に、有名・日本人の名前を知っている人は非常に少い。日本人なら、子供でない限り、サッチャー首相や第二次大戦中から戦後にかけての指導者、チャーチル、あるいは音楽のビートルズ、古くはネルソンの名前など、数人の英国人の名前がたちどころに出るはずである。ほとんど交流もせず、互いに「血と汗と涙」の人間くさい接触がなければ反発や反感の出方も限られよう。しかも英国では今、日本から恩恵を受けつつあるのである。(日本も同様、英国から恩恵を蒙っているのだが)。

一方、日本と韓国の間は、過去の歴史から来るこだわり、とくに日本統治36年間への反発と反感と、これに対する日本の贖罪の問題、地理的な近さから、ひんぱんに行われる様々な交流、経済的・技術的なコミットメントなどが重なり、韓国人の対日意識は当然複雑で、けわしいものにならざるをえないのである。さらに日本側の偏見も、これに大いに加わっていないか。そして、韓国人が、このことを、実に率直に、表明したことは、多としたい。

意識のずれから来るパーセプション・ギャップは、やがて文化摩擦を起す。文化が交流すれば、相手文化に対する挑戦と応答が行われ、その過程の中で摩擦が発生するのである。結局は、国際化とは異文化同士の出会いであり、そこに文化摩擦が生じる懸念も、たえずあるということであろう。

もとをただせば、文化摩擦の原因は、最初に述べたように、第一に誤解と偏見、第二に価値観の対立、第三に利害の対立があげられる。この原因を除去しない限り、摩擦は解消しない。しかし、原因は、いつも複雑にからみあっ

ており、これを見つけだして、取り除くのは、大変に困難なことである。

まず誤解と偏見であるが、誤解は情報不足から来ることが多く、偏見は教育やマスコミ報道などの意図的な方向づけが助長しがちである。情報不足には正確な情報を適度に供給すればすむが、外国の教育状況やマスコミ報道の中にまで他国が立入るのは至難である。

しかし、問題があれば、ゆがみの是正のために自己の主張はすべきであろう。

価値観の違いは、長い歴史や伝統、風土の中で民族性として出てきたものであり、それぞれの民族国家に思考様式、行動様式、生活様式の差異があるのは当然である。この違いを対立としないためには、この世には「自分の物差し」と違うものがあることを認識するしかない。

利害の対立は、政治的、経済的、軍事的、その他あらゆる面で、相互が生存権を主張するうちに発生するものである。この除去も大変であるが、要は、「すべての国家と人間は地球の一員である」との確認からはじめることを銘記すべきである。

とにかく第一歩は、相互理解であり、相互コミュニケーションである。この際、「自分の顔」をハッキリさせ、相手の立場も十分に尊重しなければならない。とりわけ日韓関係の場合、日本人は贖罪の気持ちを持つ必要がある。「罪と痛み」を知るのも、日韓理解の土台なのである。

今回の研究では韓国の昌原専門大学学長・裴徳煥先生、蔚山大学校外国学大学副教授・魯成煥先生をはじめ、英韓両国の大学教職員、学生、あるいは職場で働く人、公園で休憩していたり、映画館の前で行列をしていた人たちにまで、大変に協力していただいた。心から感謝したい。また日韓の間では、今後、腹藏のない「誤解と偏見」の研究を進めたいと願っている。

〔註〕

- (1) 『1989年ジェトロ白書・投資編・世界と日本の海外直接投資』（日本貿易振興会）24ページ
- (2) 同、180ページ
- (3) 『1990年ジェトロ白書・投資編・世界と日本の海外直接投資』（日本貿易振興会）186ページ
- (4) 『1989年ジェトロ白書・同』（同）117ページ